

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】前橋市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
41	2010.3.31			群馬県	前橋市	341,024	311.64
構想の要約		前橋市は、市民の理解や協力の下、食品廃棄物、家畜排せつ物、木質バイオマス、下水汚泥等を有効に活用することにより、循環型社会システムの構築を図り、「生命都市いきいき前橋」構想の実現を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1 食品廃棄物利用 2 家畜排せつ物利用 3 木質バイオマス利用 4 下水汚泥利用 5 廃食用油利用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

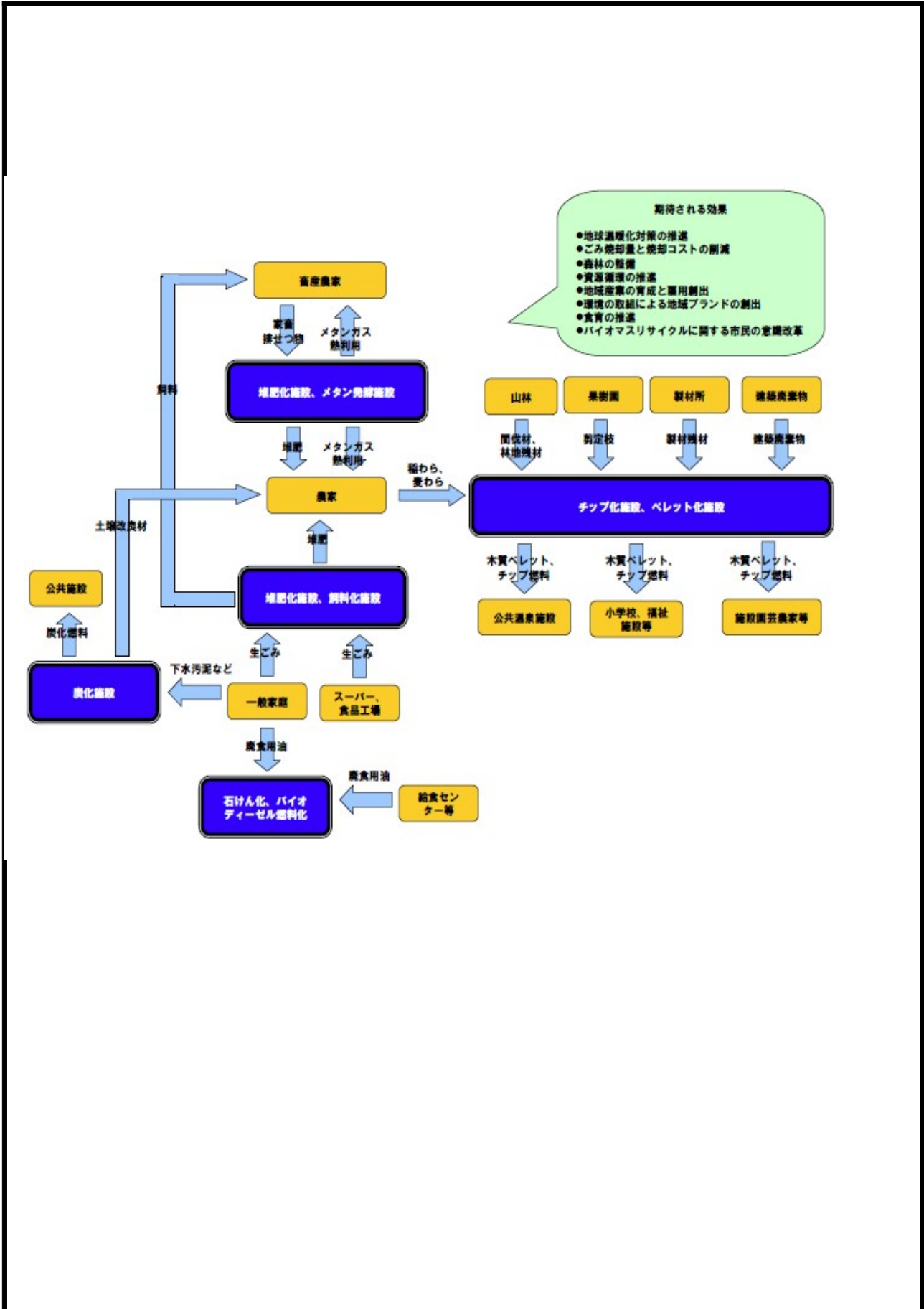
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量 (t/年)※	変換・処理方法		仕向量 (t/年)※	炭素換算量 (t/年)	利用・販売	利用率 (炭素換算) (%)
		炭素換算量 (t/年)	炭素換算量 (t/年)				
(廃棄物系バイオマス)		62,025			55,919		90.2
家畜排せつ物	871,413	38,211	堆肥化	853,985	37,447	農地還元、エネルギー利用	98.0
農業系廃棄物	1,137	259	堆肥利用、畜産敷料、燃料	1,137	259	エネルギー利用、畜産利用、農地還元	100.0
食品廃棄物	104,208	4,606	飼料化、堆肥化	74,920	3311	農地還元、畜産利用	71.9
廃食用油	22	16	石けん、BDF化	22	16	販売	100.0
廃棄紙	27,739	9,337	再生紙	17,233	5,899	販売、未利用	63.2
木質廃棄物	19,793	8,447	チップ化	17,799	7,838	販売	92.8
下水汚泥など	15,612	1,149	肥料化、熔融	15,612	1,149	エネルギー利用、農地還元	100.0
(未利用バイオマス)		15,963			7,426		46.5
農作物非食用部	37,270	13,282	畜産敷料、堆肥化	20,068	7,181	畜産利用、農地還元	54.1
圃場残さ	11,421	2,194	すき込み	0	0	未利用	0.0
間伐材ほか	2,237	487	製材、ペレット化	1,124	245	販売	50.3

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--